



吉崎別院便り

バラバラでいっしょ！ になれるところ



琵琶の弾き語りで伝える柳野師

夏の御文永代経を勤修 「蓮如上人絵解き説教」 ～上人のご生涯に私を尋ねる～

6月24、25日の2日間で「夏の御文永代経」が勤まりました。法要では、三部経の読経と、上人が明応七年（1498）の夏に書かれた四通の『夏の御文（げのおふみ）』の拝読に全国から参詣をされた延べ150人のご門徒が心静かに耳を傾けました。また、25日は講師に柳野明仁師（岡崎教区本澄寺住職、三河スーパー絵解き座長）をお迎えし、琵琶によって弾き語られる上人のご生涯や、日常生活におけるお念仏の大切さがお話しされる中で、それぞれにこの法縁に手を合わせ、お念仏申す生活が尋ねられました。来年の永代経も柳野師をお迎えします。



「蓮如上人絵解き説教」では、吉崎に所縁のある言い伝えもお話しいただきました。「嫁贅しのお面（左上）」と「腹ごもりのお聖教（左下）」です。吉崎別院には蓮如さんのぬくもりが伝わるお話がいっぱい。どうぞ、いつでも吉崎別院をお訪ねください。



ご参詣で溢れる本堂